

団体名		武蔵野市民防災協会				
① 事業	指標名	防災推進員の活動			目標値	5,000件
	過去の実績	令和2年度	令和3年度	令和4年度	(過去の実績についての説明)	
	(単位:件)	4,990	5,508	5,636	過去3年間は目標値をコンスタントに達成している。	
	財政援助出資団体に対する指導監督の基本方針(平成21年2月改正)の具体的な取組の該当項目					
	設定理由等	5,000件の目標値をコンスタントに達成する中で、防災推進員の活動をさらに進めていくことにより、地域における防災力の向上を目指していく。				
取組内容	①町なかの安全点検を引続き行っていく。(報告箇所の経過等) ②避難所運営組織に対する積極的な活動の推進(協働、訓練への積極的参加) ③地域におけるイベントに積極的に関与し、防災に対する取組を広報していく。 ④防災推進員の活動内容・期待される役割等の検討を行う。					
② 財務	指標名	斡旋・販売事業			目標値	2,500千円
	過去の実績	令和2年度	令和3年度	令和4年度	(過去の実績についての説明)	
	(単位:千円)	1,443	1,643	2,545	斡旋・販売の実績については、コロナ禍の2年間は150万円程度で推移していたが、コロナ感染症が下火になり、実績が上がってきている。	
	財政援助出資団体に対する指導監督の基本方針(平成21年2月改正)の具体的な取組の該当項目					
	設定理由等	昨年度における配達を含む斡旋・販売事業の実績を踏まえて目標を設定した。				
取組内容	①在宅避難における「日時備蓄」の充実を図るため、備蓄の重要性をホームページ、防災協会だより等で市民に周知する。 ②市域内の無料配達を継続することで、斡旋・販売事業の推進を図る。					
③ 内部	指標名	職員の研修等への参加			目標値	25件
	過去の実績	令和2年度	令和3年度	令和4年度	(過去の実績についての説明)	
	(単位:件)	26	17	26	コロナ禍においては、対面でのセミナー等が中止となり、研修等の参加が減った。	
	財政援助出資団体に対する指導監督の基本方針(平成21年2月改正)の具体的な取組の該当項目					
	設定理由等	研修を受けることで協会職員の知識及び防災意識の向上を図るため。				
取組内容	①オンライン研修や自主研修を取り入れ、防災意識の向上を図る。 ②感染症対策を実施しながら、集合型研修に参加する。					